（明治三十九年十一月二十日第三種郵便物認可）（日刊）月曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年八月三十一日（火曜日）　第二百一號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●韓海漁業の將來

長崎縣水產課長林廣吉氏は韓海漁業に付き往訪の記者に左の談話をなしたり

△漁業法發布結果　漁業法發布以來沿岸漁獵は一新生面を開き來れり從前は通漁區域極めて狹かりしも同法施行以來は各縣競ひて漁區の獲得に努め各其從來通漁上緣故ある地方に根據を求め移住漁業の計をなしつゝあり併し初めより悉く永住的なる能はざるを以て漸進的に經營する方法結果良好なるべし

△通漁の不利　從來漁期に來集し漁期終りて引揚ぐるは往復に無用の日子と費用を冗費するのみならず時に機を失して意外の不利を來すことあり

▲魚族豐富　各沿岸を通じ古來濫漁の弊は殆んどなかりしを以て魚族の繁殖は自然を全ふし居るに近く爲めに何れの方面も魚類豐富なり

▲魚の種類　魚の種類又甚だ多く殆んど種としてあらざるなきの有樣なるが殊に平安海の小鰕は最も多く乾燥して支那向とするに宜く鯛も中々に夥く東南岸の鰮は（イリコ）として無限の漁獲と無限の販路あり其他鯛、グチ、明太、鰊等一々擧るに勝わず

●貨物運搬と個數報

菅谷內國通運會社支店長の談に依れば運輸と交通機關を第一の立場として營業する同社の如きにとり最も苦むは交通機關即ち道路の不完全にありて今日の處十六貫以上の貨物は殆んど各地に發送する能はず加之小斤數の貨物にても韓人は未だ通運の便を知らざるのみならず習慣上日本人を疑ひ之に托すれば紛失若くは關知せずといふ如き無責任の挨拶を受けはせずやと懸念し反りて危險多く扱料高き個人扱に托するの傾きあり之等の謬想を排し且つ治道の完全を得て營業の基礎を安固ならしむるには前途尚ほ遠く三四十年の後を期する覺悟なるべからず韓政府にても道路工事に力を注ぎ鐵道經營も百年の大計を立てゝ鐵道經營に腐心し居る由にて之れ最も喜ぶべき次第なるが尚ほ望蜀の念あるは貨物扱に於て斤數扱を個數扱に更められんことなり尤も斯くすれば鐵道收入に一時の減退を來すべけれども其運賃割引により貨物の運輸を誘發促進し永遠の上より見れば却て增收を來すは屢々實見する所なれば韓鐵の如き輸送力に富に多大の餘裕を有するものは當局の大に此に留意せんことを希望に堪へず云々

●暴騰しつゝある韓米

近來韓米の騰貴甚しきが其の主因は米の重要集散地たる仁川に於て一時に大連又は元山方面へ多量の韓米を輸送したるが故にて之が爲め京仁地方は今や益々在米の缺乏を告げ何れも鎭南浦にその供給を仰ぎつゝあり又平壤目下の在米は僅に當用口のみなれども夫すら此程千五百叺餘りを京城に輸入したり勢ひ斯くの如きを以て相場は益々奔騰し京仁地方は下十四圓、中十五圓、上十六圓、平南方面は下十三圓、中十四圓、上十五圓にして何れも從前に比すれば四圓余の暴騰なり大坂に於ても淺ひ買ひにて在米の減少したる矢先火災等のありし爲め米價奔騰し上米は如何なる場合にも十三圓七八十錢以上に昇りたる事なきに這回は十四圓五六十錢より十五圓を唱へ隨つて一時安價なる韓米の取引を見るに至りたれど昨今にては韓米相場の方却つて高位に居るため不引合にて取引中絶しつゝあり新米出廻り後にあらざれば大阪との取引は見る能はざるべし兎に角韓米價格の暴騰せること今日の如きは亦稀有の現象なりと云へり

中山大納言

第卅八席　桃川燕玉演

只今迄同業者が中山夢物語といふ講談で市中で毎々辨して參りましたのは、前々申上げた通り辨じましたのだが、事實は是とは大きに相違を致しまする。と云ふのは以前此講談を演みまして加藤泰明といふ講釋師が江戸御構と相成り、初代の桃柳齋馬琴と申すのが江戸御構と相成り、是は後に大坂へ參つて彼地で生涯終りました。さう云ふ位で、どうも迂濶な事は只今迄は市中で言上が出來ませぬから、それ故此の如く申上げたのだが、今日は殆ど差支がないから是から少しく御話が後へ戻ります樣だが重複に成ませぬ樣に白河の越中守定信と勤王無二の中山大納言とが營中の大問答、中山殿が光格天皇の御綸旨を將軍家齊の面前に突き付けての大議論、實際の御話を言上致しまするが、松平越中守定信は天下の忠臣、中山大納言愛親卿は勤王無二何方も打割つて見れば誠忠無二の御方、私の心と云ふものは少しもない、それが茲に衝突をして、中山樣が今度關東御下向になるに就ては無論閑院宮典仁親王へ太上天皇の尊號を奉る事は大丈夫間違ひないと、中山樣御自身も信じて御下向になつた、されば此中山殿に始終御出入りを致し、殊に非常の御愛顧を受けました高山彦九郎など云ふ人は、此尊號事件手違ひから、其年遂に筑後の久留米に於て切腹をして相果てた。尤も此高山彦九郎などゝ云ふ人は、寛政の三奇人と云つて無雙の勤王家でございます、明治の初年に至つて、高山神社と追號をされ、從四位を贈られました位。此高山彦九郎が勤王事件で遂ひに切腹をして相果てました履歴を、ちよつと掻摘んで言上を致しまするが、此の人の先祖は南朝無雙の忠臣新田左中將義貞の十六騎党の一人で[illegible]遠江守の宗孫、代々上州新田郡細谷村と云ふ所に住ひまして、彦九郎の父親は良右衛門と云つて名主だ、大層力もございまして武藝を能く致したと云ふ、彦九郎が幼年の時に兩親共亡くなりまして、祖母さんの手で成長を致した、どうも此婆さん子は幾らか價が安いなどと云ふ惡口があるがなか〳〵さうでない、此彦九郎の祖母さんと云ふのが大した者、されば幼年の內から自然と人に優れ、大層本が好きで、好んで軍書を讀み、取別けまして太平記と云ふ結構な御本を、暇さへあれば手を離さない、と後醍醐天皇に楠正成新田義貞などが忠義を勵む、其條に至りますると餘念もなく喜んで之を讀み、足利尊氏の暴逆なる所を見ますれば齒を食切つて之を怒ると云ふ、自然どうも子供の中から他の子供とは樣子が違つて居る、デ早くに自分が思ひ立つた、どうか己も新田の忠臣高山の子孫に生れ、こんな片田舎で生涯終つては殘念、都に出でゝ一天萬乘の君へ忠勤を勵みたいと云ふ、就きましては諸國遊歴を致し、山又山を歩くには身体が虚弱ではいかぬ、物は慣らし柄、今の中からそろ〳〵鍛ねて置かうと早くに心付きましたるから、毎日野良仕事を致しまして日の暮方になり畑から歸つて參りまするど、祖母さんに斷つて伊勢崎まで本の稽古に參りまする、五里ある、足も達者ではございますが、五里の道と云つて容易な事ではございませぬ、伊勢崎へ行つて夜學をする、先生に暇を告げ、夜通しドン〳〵歸つて來る、途中に辻堂がある、それを晝間の中ちやんと氣を付けて置いて、歸りには其辻堂に入つて着た儘でゴロリと寝てしまふ、曉方になる、直ぐ歸つて台所に行つて飯を食ひ、鍬を引擔いで畑に行つて、終日眞黒になつて働き、夕飯を食ふ、直ぐに家を飛出して伊勢崎迄スタコラ參りまして、本を一生懸命稽古をして、又歸つて來る、歩くだけの道を歩いて草臥れると、庚申堂が地藏堂でも構ひませぬ、有る處勝負と云ふので、唐突其處へ飛込んで、夜露さへ凌げば宜いと云ふ、着た儘でゴロリと寝る物は慣らし柄でございまして風邪一つ引かない、歸つて來ては又働く、驚いたのは家內の者、村方一同「どうも彦さんは不思議だ、寝ない、能く眠くない、野良仕事を絶つて伊勢崎まで毎晩書物の稽古に行つて、歸つて來る直ぐ飛出して、終日働いて又出掛けて行く、ちつとも寝る間がなさゝうなものだが、平氣でまア能く身体が續くものだ、不思議な人もあつたものだ、ちつとも寝ないやうだがと云ふ。寝ない事はない、昔で一時半今から三時間、或は二時間位は乾度何處かで眼を休めさする、斯くする事五六年、恰度十八になつた時が明和の元年、當時勤王の有志が諸方に起りました、彼の竹內式部或は山縣大貳、藤井右門などゝ云つて、明和の勤王家が諸方にムク〳〵頭を擡げまする時分、高山彦九郎もうこれ學問も大分出來ては參りましたし、何分にも都の土を踏みたくつて堪りませぬ。

京仁間時刻改正

來る九月十一日より京城仁川間の列車運轉時刻を全部改正いたし候

◎主要驛發着時刻

仁川行 西大門發	南大門發	杻峴着	仁川着	京城行 仁川發	杻峴發	南大門着	西大門着
—	前六、二〇	七、三七	七、四五	前六、〇五	六、一五	七、三六	—
八、三〇	八、四〇	九、三七	九、四三	八、〇五	八、一二	九、〇八	九、一四
九、五〇	一〇、〇〇	一一、二九	一一、三九	一〇、一五	一〇、二四	一一、四三	一一、五〇
—	後一二、二〇	一、三八	一、四六	一二、〇〇	後一二、一二	一、四五	—
—	二、〇五	三、三七	三、四九	二、二五	二、三三	三、四九	三、五七
—	四、二〇	五、二七	五、三五	四、一〇	四、二〇	五、五七	—
六、一〇	六、一八	七、一九	七、二五	六、一〇	六、一六	七、一四	七、二〇
—	七、五五	九、一二	九、二〇	八、〇五	八、一三	九、三〇	九、三八
—	一〇、〇五	一一、二三	一一、三一	九、五五	一〇、〇三	一一、三三	—

●尚同日より西大門南大門龍山間小運轉の各列車時刻も改正致候間詳細は停車場に就き御承合被下度候

明治四十二年八月　統監府鐵道廳

韓國銀行株式募集

一　當銀行の資本は一千萬圓にして株式の總數を十萬株とし一株の金額を百圓とす
二　今回公衆より募集すべき株式數は十万株の內三萬四百株を控除し其の殘六萬九千六百株とす
三　當銀行の株式申込人は日韓兩國人に限るものとす
四　株式申込の期限は明治四十二年九月六日より同月十二日までとす但申込株數か需要額に達するときは此期限內と雖之を締切るものとす
五　申込人は株式申込證に證據金（一株に付金五圓）を添へて各取扱店の內へ申込まるべし
六　郵便にて申込るゝ場合には必ず證據金を添へて書留郵便に付せらるべし
七　株式申込證並に印鑑用紙は各取扱店に備置くに付申込人は同店に就き請求せらるべし
八　各株式の第一回拂込金は二十五圓とす委員長の通知を得たるときは期限內に其の取扱店へ拂込まるべし
右の外詳細の事項は八月二十七日、二十八日、三十日の官報に掲載あり尚取扱店は左の如し

取扱店名　在韓國株式會社第一銀行京城支店、同仁川支店、同釜山支店、同平壤支店、同京城株式會社漢湖農工銀行、同大韓天一銀行、同韓一銀行、同漢城銀行

東京市麴町區永田町二丁目十九番地　韓國銀行設立委員事務所

京城新報

水利組合

韓國政府は地方農民に水利組合を組織せしめ、水利事業の計畫を奬勵しつゝありしが、韓國農民の智識程度は頗る幼稚にして唯夫れ間接的に奬勵する位にては到底急速に其成蹟を見る能はざる也、頃者報ぜらるゝ所に依れば其事業設計に當りて組合に於て適當なる技術者を雇聘する能はざる場合には財務監督局長の上申に依り度支部は其事業設計の當否を實地に調査する必要ある場合には何れも組合の費用を以て相當の技術者を出張せしむべし云々、若し夫れ韓國農民にして自治の精神あり多少の公共心を持するものならば當局官廳が斯る方針を取るも可也、然れども現在の程度に於て斯る形式の奬勵にては到底効を奏する能はざるべし、韓國が今日の如く河川は殆ど荒廢し、山林濫伐して禿山となり、年々歳々河川汜濫し或は旱魃に續逢して凶作を見るも、唯だ其儘に放置して顧みざるは自治的精神なく、且つ一點の公共心なき爲に自ら進で河川の修理をなし水利の便を啓くことをなさゞりし也、彼等にして一片の自治的精神あり公共心あらば現在の如く河川も荒廢せず水利の便も備り居るべき也、然るに彼等は之が爲に凶作を見ることを憂るも卒先して其事業に從事するものなし、過去既に然り此儘に放任すれば將來亦た然らざるを得ず、茲に於てか當局官廳たるものは須く强壓的に奬勵するに非ざれば到底成績を見る能はざる也、彼等が技術者の雇聘を申込むに當て彼等の費用を以て技術者を出張せしむると云ふが如き微溫的の奬勵にては其効或は空しからむ、事業の設計實地調査の如きは當局官廳に於て之をなし、夫役或は其他の方法に依りて直に之を實行するの手段に出でざれば決して顯著なる成績を見る能はざるや明けし。

治水事業の急務なるは素より論なし、然れども水利事業の急務は之に劣らじ、見よ年々歳々天候の順なるに拘らず、僅かの照り込に旱魃を叫び、僅かの降雨に河川汜濫して水害を蒙り凶作を見るに非ずや、之が爲に年々損する所のもの頗る大なるに非ずや、治水と水利とは恰も車の兩輪の如し、若し彼等に對して强壓的に此事業に從事せしめば或は一時不平を唱ふる者あらんも、後は必ず歡喜の聲を發して當局官廳の施設を謳歌せむ、治水に就て以今當局者は熱心に從事せらる、余輩は當局者が治水の施設に向て努力しつゝあるを切望して止まず、是を以て水利組合の如きも更に積極的奬勵の意味を以て當局官廳は組合の請願を俟たずして技術者を派遣し設計をなさしむると共に其事業に着手せしむるの擧に出でんことを望む、之を爲すには現時の程度に於ては夫役の方法は最も可なるべきか敢て當局者の考慮を煩はす。

東京電報

▲日清協約ご間島　日清新協約に伴ひて更に協定せらるべき間島の將來問題は左の如く決定せらるべし

一、淸國政府は日清協約調印と共に間島の開放を實行す
二、日本は統監府出張所を廢止し領事館を置き日韓民を保護す
三、天寶山鑛山は日本に於て相當代償を淸國に納め經營を繼續すること
四、間島橫貫鐵道の布設經營を日本に收むべし

▲清津の將來好望　外務省は間島橫貫鐵道に多大の希望を屬し淸津自由港閉鎖の結果淸津港は益々有望なる地となしたれば鐵道布設と共に北韓唯一經濟的樞要地たるべしと期待し居り

▲韓銀理事の內定　韓國銀行理事は大藏省書記官二宮基成一銀支店副支配人三島太郎の兩氏に內定し外一名は日本銀行より任撰の筈なり

▲海軍の豫備編入　海軍大將日高壯之丞、海軍中將橋本渭明、同井上良智、海軍少將大久保　己巖、同岩崎達人、同瀧川具和、同成田勝郎、同今泉利義、海軍機關中將三原二郎、造船總監黑部公正の諸氏は豫備役仰付られたり

▲將官の昇任ご豫備　海軍少將武富方定氏は中將に任じ豫備役仰付けらる

▲韓銀株の前景氣　韓國銀行株式募集期日發表したるを以て同權利株に對する人氣高まり一株五十二三圓を稱へ居れり

▲日清協約ご調印　昨紙北京電報の日清協約は形式上未了の點あり調印は數日後なるべしと外務省當局者は語れり（以上八日夜着電）

地方電報

▲臺灣生蕃の兇暴　桃園廳隘勇線前進隊は逆目敵蕃の襲擊を受け十名內外の死傷あり二十八日は戰鬪最も激しく戰死六名負傷七名を出せり始めより我が死傷九十八名に達せり（二十九日朝着）

▲東拓總裁の歸期　宇佐川總裁は九月一日出發歸韓の途に就くべし（二十日着）

▲日宗生命の解散　日宗生命保險會社に對する解散宣告の申請を檢事より提出せり明三十一日重井、秋木、阿部の重役等は召喚を受け訊問せらるゝ筈

▲新義州の虎列拉　本日日人患者死亡一人初發以來患者三十一人內死亡八人なるが尙は義州所録面に急死者あり調査中なり（二十九日着）

▲龍岩浦の患者數　初發以來患者十二人死亡五人なり（同上）

雜報

●統監の病狀に付き（某氏の談）

曾禰統監の御病氣に就ては其病源の明ならざるが爲めに日韓蒼生の心配は中々一通りでない京城日報が此兩三日來頻りに統監病狀に付樂天說を傳ふるを以て實は吾人も安心すべきであるが中々ソー云ふ譯には行かぬ統監の御病氣が胃癌であると云ふことは曾て小山技師や高階博士の診斷に依つて明かにせられ居る菊地博士が小山高階兩先生以上の名醫であるか否かは別として苟くも統監程の大切な病人を輕々敷扱つて若しもの事があつたら夫こそ責任は菊地先生に歸することに爲るのである、菊地先生も統監の御病氣に就て拜診の榮を有せられたる以上は茲一番素人氣休めの話は止めとして極めて眞面目に統監閣下の御病氣に關する醫學的報告を發表せられては如何曾て印度に於て時の總督カルゾン卿が病氣に罹りたることあり其病狀不明なりしが爲印度人の疑ひ一方ならざりしを以て主治醫は日々脈搏體溫及び大小排泄物の醫學的檢査の結果を公にしたることあり菊地大韓醫院長にも統監の主治醫にあらるゝならば此際カルゾン卿の主治醫と同樣に爲され蒼生をして安心のいく樣にせられては如何不幸にして菊地博士が此擧に出られざれば蒼生は益々疑雲に包まれ統監の御迷惑ともなるべき浮言流說は數限りなく起るべきは必定なり菊地先生たるもの此際是非とも脈搏體溫は申すに及ばず特に大小排泄物の醫學的檢査の結果を公にすべきものなり云々

●韓政府と日本人（直接請託を容しめず）

韓國政府が直接在留日本人に接觸して知巳縁者の請託を容れ擅まに事を決するの弊風は蔽ふべからざる事實なるが是れ啻に形式上の手續を蹂躙する所以なるのみならず理事廳設置の精神を沒却するものなりとし統監府は茲に顧みる處ありて此頃左の意味の照會を發したる由

在留邦人又は組合或は團体等より直接貴國政府へ事件の認許を請願するもの不尠貴國政府亦是が處分を決定し來りたる由なるも右は法律勅令に特別の規定ある場合の外は所轄理事官を經本府より交涉すべき儀に付爾今直接貴國官憲へ請願するものある時は一切所轄理事官へ移送せられたし云々

●三角航路の奪合

北韓及び日本北陸の一港間を航行せしむべき三角航路に就ては既報の如く淸津元山敦賀の三港に內定したるが此計畫新聞に掲載あるや舞鶴港にては是非此計畫を覆へし同港に改定するか又は寄港を爲さしめんとて躍起運動を開始し統監府へ長文の意見書を提出し來れり而して之を聞ける敦賀港にては何條以て默すべき直ちに委員を撰出し當地に派遣して目下極力運動中なる由

●韓國現在歲入ご將來

韓國現在の歲入は約千二百萬圓にして經常歲出とは稍や同一の程度にあることとなるが治道、築港及水道等の臨時支出に屬するものを併せは約二千餘萬圓の歲入にして斯の如く不足せる支出は何れも國債に其缺乏を仰ぎ居れることとなるが將來の歲入は稅制整理の結果大に收入の增加すべき希望あることは何人も異論なき點にして今其の重なるものを擧れば關稅の增收にして之れが稅率の改正は容易に行ひ得ずとするも現在の制度を革進して鑑定價額を引上げ密輸入の取締を嚴重にする時は少なくとも五十萬圓乃至百万圓の增收を見るべく殊に土地の整理を行ひたる曉は約二千万圓以上の增收なるべきに付き韓國今後の稅制は頗る有望也と

●石塚總務長官事務取扱に申す

統監府總務長官事務取扱石塚英藏閣下本社は本月二十六日付を以て左の書簡を閣下に郵送したり

拜啓閣下愈御淸祥奉賀候扨過日曾禰統監の病氣見舞と稱して入京したる淸元延壽太夫の一行が統監邸中　皇太子殿下の御間に宿泊を許され居候趣傳承仕候が右は事實に候や如何、若し果して事實なりとすれば幵は　皇室に對する不敬の所爲にして吾人臣民の默過すべからざる事柄なりと被存候本社は右に關し今後採るべき手段を有し居り候得共先以て事實の有無を慥め度茲に御照會仕候に付何卒實否御取調べの上御回答相成度此段申進候也、草々敬具

京城新報社

統監府總務長官事務取扱　石塚英藏殿

思ふに閣下は已に已に該書簡を入手せられしならん而して未だ本社に何等の回答をも與へられざるは蓋し閣下が本件を重大なりとして愼重に調査し居らるゝに因るならんか閣下或は言わん如斯困難なる調査を余に求むるは實に迷惑なりと然れども思へ本社が特に書簡を發して閣下の回答を煩す所以の者は閣下が生來剛直にして如何なる事件に對しても是は是非は非と斷言し得るの勇氣を有すると信ずるを以てなり終りに臨み一言す閣下は會津出身の快男兒なり快男兒にして尙且つ官官者流を學ぶべしとは本社の信じ能はざる所なり

●木浦公州間道路工程

目下工事中なる韓國八大道路の一なる木浦光州間の道路工程を聞くに延長約二十一里、現在に於ける既成部分は木浦務安間八里光州內榮山間七里半計十五里半にして未成部分は內榮山より務安に至る五里半なるが土木局にては木浦及び羅州に出張所を置き双方面より着々工事を進めつゝあるが全線の完成は明年度の豫定なり而して道路用地面積及び買收價格は延長約二十一里にして幅員は通路六米の外に左右に二米宛の道敷を存置し此が用地として買收したる面積は三十八萬二千三百五十二坪之れが買收價格は三萬三千百三十七圓なりと云ふ

●岡內部次官の招待宴

岡內部次官は今般夫人來京に就き二十九日內部觀廳及び大韓醫院の各高等官を同邸に招待して園遊會を開きたるが曾禰統監散策の途次同邸に立寄られ淸元の新曲青海波を聽取して立歸りたる由（京通）

●統監の政略的散策

曾禰統監の病症は屢次既報の如く洵に憂慮すべき症狀なるより在留邦人孰れも其容態如何を氣遣ひ居るが今朝は馬車を驅つて東大門外へ散策を試み靜かに運動をなしたるも格別疲勞を感ぜざりし由思ふに世評紛々たるより殊更に輕快を裝ひ世人を安心せしむる政策ならんと云ふものあり（日本電通）

●東拓社の漁業監視船

東拓會社が韓政府と交涉既決せる漁業區は平南一帶の沿岸に決し明年漁業期より開始するに至るべきが其經營方針に就ては未だ具体的成案を決定するに至らざるも結局個人と契約を締供し會社は自ら漁業の衝に當らず唯だ數艘の監視船を設置して保護取締を爲す位なるべしと云ふ

●定例內閣會議の開會

昨三十日は定例內閣會議の當日なるを以て各大臣登閣內閣會議を開きたり

●本日の定例大臣會議

大臣會議は先月來休會なりしが今三十一日は定例日に付き開會することゝなりたり

●地方費豫算認可

地方費の科目、科率及納期等に就き過般來內部及び度支部の兩部に於て協議中なりしが略終了したるに付き統監府の承認を經て不日各道に通牒を發する筈なるが內部は之れに準據して地方費豫算の認可を與ふべしと

●墺國巡洋艦入港

一昨二十八日門司港より仁川港に入港したる墺國巡洋艦イザリン、エリサベス號は目下尙は同港に碇泊なし居れるが今明日の中に出港すべしといふ

●各學校の始業式

仁川小學校高等女學校幼稚園および商業校學校は何れも明一日開校式を施行し二日より授業を開始する筈

●韓銀株金ご拂込

九月六日より十二日迄の期間に於て韓國銀行株式募集を爲す筈なるが第一回株金拂込は同月廿日頃なるべしと

●韓國銀行株に付（某銀行家の談）

韓國銀行株の前景氣が意外に良くして權利株が五十圓を呼びつゝあるは全く政府筋の景氣附と投機者流の空騷ぎに因るものなり而れども如何に空景氣空騷ぎなりとは云へ今や內地の諸株式沈睡の折柄なるを以て黑人筋も素人筋も蟻の甘きに就くが如く韓銀に寄集まるは自然にして其株式申込高は愈蓋明となれば少くも

七八百倍

とはなるべし、彼の南滿株に千七百五十倍の申込ありたるは例外としても己に餘り見込なかりし東洋拓殖株にさへ三十倍の申込ありたる程なれば韓銀株に七八百倍は蓋し當然なるべし如斯んば七八百株を申込みてさい僅かに一株を手に入るゝ結果となるべければ其以下の申込者は殆んど申込損に了るならんか

●下野新聞滿韓視察團

下野新聞社の主催にかゝる滿韓觀光團は過般來會員募集中なりしが本月二十日迄に三十二名の申込みありたるを以て募集締切同廿六日同地第一等料亭梅壽に於て團員一同旅行中の打合せ會を開きたる由なるが愈々九月三日同地出發滿韓各地視察の途に上るべしと因に同團員は同地方に於ける第一流の實業家にして當地着は九月八九日頃なるべしと

●國債報償問題の成行

例の國債報償金取戾方に付國債報償總合所長尹雄烈氏等より提出したる請願書は其後京城理事廳より更に事實證明書を添付提出すべしとて却下したるより彼等は更に漢城府に其證明方を出願する筈なりと

●京城小學校增設計畫

在京城日本人の勢力益々發展し現在第一第二の小學校にては到底就學兒童を收容する能はざるに至りしかば熊谷民長は義務教育普及の上に於て棄置き難き緊要事件となし不日民會を招集して增設案を附議せん筈

●東拓總裁以下の歸京

韓國銀行の創立委員會に出席の爲め東上中なりし宇佐川總裁は來月一日東京出發歸任の途に就く筈にて岩佐理事は其前後に於て歸任すべく韓相龍氏は一兩日の內歸任すと

●中村侍從武官長歸東

駐箚軍司令部中村侍從武官長の一行は二十八日入京大門外に投宿したるが二十九日午后十時南大門發列車にて歸任せらる

●淸國觀光員一行來京

直隸總督端方氏の實弟端錦氏は原口博士と共に學生二名を從へ二十八日入京巴城館に投宿し二十九日龍山を觀察したりと

●各國領事の招待

仁川居留精米業米人タームゲ氏は二十八日米國總領事サモンス氏同書記官ゴーレス露國領事オーケレチン氏獨國領事クルケル氏の諸氏を招待したり

●黑岩技監の歸任　賜暇東上中なりし農商工部技監黑岩休太郎氏は廿八日夜歸任す

●石塚長官の出勤　微恙引籠中の石塚總務長官事務取扱は全快昨日より出勤せりと

●澤田局長の歸期　東上中の澤田地方局長は一兩日中東京出發歸任の途に就くべし

●若宮書記官來京　遞信書記官若宮貞夫氏は二十九日入京旅尾旅館に投宿したりと

●廣田囑托の移轉　廣田統監府囑托は倭城臺元庵原技師官舍電話一一〇二番に移轉

公人私人

▲篠田治策（間島派出所事務官）八日東上
▲石川啓（熊本縣事務官）二十八日入京
▲和智熊吉（同縣技師）同上
▲緒方二三（同縣水產組合理事）同上
▲大友歌次（鳥山區裁判所判事）廿九日出發
▲野呂德一（間島派出所事務官）同上
▲下田大吾（鐵道院技師）同日新義州へ
▲篠田延世（セメント會社技師）廿九日入京

近事片々

▲殘暑　尙烈しと雖も朝夕の涼味は甚だ心地よし長空淸く月玲瓏眞に一年中の好時季
▲蚊帳　の中に橫臥して軒端の虫の音を聞く日中の俗氣頓に滅し詩情勃然として起る
▲曾禰　統監の病快方に赴き平生と左程異らざる程也と御用紙は亦しても報道をなす
▲特に　菊地博士の談話まで揭げて之を證立てんと試む見へ透く樣な辯疏は無効力
▲御用　紙が快方に赴けり〱と報ずるは發病以來の事也快方も茲に至て隨分長い者
▲始よ　り今日に至る迄快方〱と報ずるも今以て病床にある誰か其報を信ぜんや
▲李完　用が統監に面會謝絶せられしは嘘也と御用紙亦辯ず抹殺好きの御用紙なる哉
▲孫澤　孃の送別會に於ける小松書記官の謝辭は聊か乙なもの之が乃ち外交の辭令か
▲孃は　妙齡を過ぐ容色美ならざるも心の美に尊敬を拂ふと孫澤孃の心は左程に美か
▲片々　何事も云はず老孃の事は小松君より多く知る云はぬは言ふにいや優る
▲露國　の蒙古經營は着々進捗し來る何を云ふてもスラブ人の實行力は甚だ偉なる哉
▲西比　利亞に蒙古に移民經營を着々實行するの雄賞すべし韓國には今尙邦人十餘萬
▲現在　の狀態にては韓國に百萬の邦人を入るゝの時は迚も今世紀に見る能はざらむ
▲移民　を外にして帝國の對韓經營なし移民の伴はざる勢力は全く泡沫夢幻に過ぎず
▲モリ　ソン博士不相變日本の政策に毒付くとは因たもの彼を慣らしたる者素と誰ぞ
▲小村　外交の祕密主義新聞排斥主義は畢竟彼を慣らしめたるに非ざるか小村今後悔
▲彼や　後悔してタイムスにのみ傾倒するも自國新聞には不相變祕密主義を取るは非
▲二万　年前の原人の骨佛國中部の土中に發見さる其骨狀猿に近似りせとは聊か慨也
▲猿猴　は矢張り我々の祖先か進化論者益々鼻高し併し猿でも犬でも先祖は構はぬ哩
▲帝國　四千万の人が一人一年三足宛の下駄を履けば其價は七百萬圓に上るとは可驚

京電

病と漁業禁止

●引繼後の一銀南支店

充用し又社宅は大和町に建……行ひ現に工……員は覺書に依り總べて韓國銀行へ引……內定し韓政府と交涉

●驛達

▲相談の相談▼（何んでも御相談に應じ升）

◎問　私は龍山から當京城に通勤するもので御座いますが只今迄は自轉車で通つて居ましたが破損の個所が頻々として困るので寧そ電車にしようと思ふのですが電車は御存じのノソ〳〵ですから時に一寸睡過した際など困却することもあるので、かと云つて自身の贅澤なのですが何方が得でしょうか御相談いたします（往來生）

◎答　自轉車も新らしい間は約六ケ月位は修繕を要すまいと思ひますが、龍間の往復にのみなら電車の方が得だと思ひますが、万一御出勤になつてからも尚乗せらるゝ箇所があるとすれば自轉車の方が得策でありますから（係）

◎問　下徒食致し居候へども余財殆んど無之候へば如何に致せば此の苦境を脱出致すべきか、機智縱横、行くとして可ならざるなき記者閣下の高教を仰ぎ度く如斯に御座候（一寒士）

◎答　君の如きは遊んで困つて居るのが分相應なり、徒食致し居らるれば當然なり、就職口でも求めるかと思へば然うでもなく只徒らに苦境の脱出に焦慮す、僕をして君の前途を占はしめば暗黒あるのみ、君如きに向つて真面目に論議するは愚か、自ら愚にしたる嘲りあるべきも僕は同胞の一人が墮落を冷視するに忍びず、一策を授けんとす、用ゐると用ゐざるとは一に君の自由にあることを待たず、曰く働け（係）

◎變通子　よ、君の考案も妙ならざるにあらざるも僕の此所に掲示するものに比せば未だ劣る所あるを見る、十圓の資金を以て會社或は銀行等に就きて粉炭を拂下げ受け夫婦にて炭團を製造せよ、斯くして夫婦眞つ黑になつて働かば貧乏如何に頑つ張るとも追ひかけるに足らんや（係）

◎記者　より懇切なる諸君に御注文致し度きは一度の御申入れにては要領捕捉致し難き點ありて再度の御申入れを希望したる際は之れに應せらるゝ様致度候早々

●不審しき縊死者　▲無心狀と酌婦承諾書

昨三十日朝龍山祝町興國寺裏松山に年齢五十歳位の男縊死を遂げ居る旨屆出たるものあるより龍山警察署に於ては詰合ひの巡査を現場に出張せしめ取調べたるも所持品としては煙草入、剃刀、砥石、コーヒー一罐、砂糖一袋、洋傘一本及縊死者より他人に送るべく認められたるものとも見らるゝ無心狀一通の外男には不用の小泉ナヲなるものゝ酌婦承諾證一札の如きを携帯し居り、身元を確め得る遺留品なきを以て同署に於ても非常に困難を感じつゝあると同署にては右無心狀の名宛人との事なるが同署に於て縊死者の身元は迷からぬ關係あるものゝ如くなるより専ら此の方面に向つて取調べの歩武を進めつゝありと而して其無心狀の全文は左の如し

あなたぶじ目出度、私永く病氣中昨日病院より退院金ありしもみな入院中遣ひ拂し（遣ひ果し？）あなた家へ三圓を御助け下さるよう願上候君へ若しさし遣（悶）出來ては氣の毒と思へ失禮致し候小生儀永らく病氣にて仕事の金もなく今日にてはたばこの金もなく度支部へ仕事に參る位大なんぎ出來るなら五六日の處金三圓か二圓半なんぼでも宜敷私をたすけて下さると思ふてかして下さい男なみだにつかひに渡して下さい

十八日　山田

おもちやどの

と筆の運びも覺束なく記されたるが萬一此の縊死者を筆の主とすれば昨日（十七日）退院したりと云ふ病氣上りの者とは受取れぬ位に强壯なる體格なるが不審なりされば病氣したりと云ふも入院したりと云ふも三圓の金を借り出すべき口實と見るより他なかるべし宛名の於もちやとは普通の者の名に有り得べからず要するに藝娼妓若くは酌婦稼業の者にして死者と深き情交ありしものと察するを至當とすべく、れもちやとは酌婦承諾書の夫れと或は同人なるべきやも知るべからずとは其の筋の者ならぬものゝ推測なり

承諾書

原籍　神奈川縣横濱市根岸町第三千六十八番地主金太郎長女

小泉なを

廿五年二月五日生

右之者今般實家補助の爲め滿韓地方に於て酌婦稼業をなすことを承諾す

明治四十二年月日　小泉金太郎印

とあり同署にても五里霧中に彷徨つゝありと記し終りたる時飛報あり曰く、縊死者が

旭町一丁目根倉幸太郎方に同居し居たる者にはあらずやと、一説として掲げ置く即はち小泉金太郎なるものにして京城

●暴徒破獄を企つ　……巨魁金憲植以下七名斬殺せらる……

昨日午後四時頃獨立門外監獄署に於て入監中の囚徒等破獄を企てたるを監守の覺知する所となり首魁なる暴徒巨魁金憲植以下共謀者重罪四七名は抗拒して逃走せんとしたるより止むを得ず拔劍して遂に七名を斬殺し漸く事なきを得たりと尚ほ詳細は後報

●抱主に說諭願

一昨日午後十時半頃南部警察署に一人の女駈け込み自分は本町一丁目裏通料理店蓬萊屋の酌婦京都生れの荒田すか（二）と云へる者なるが此頃病氣に罹り醫師の診察を請はんとすれど抱主が外出を許さゞれば說諭を願ひ升と訴へ出でたるにぞ詰合の巡査は抱主を說諭すると共にすがは富久尾病院に入院せしめたるが同人は五六月前蓬萊屋に僅かの前借にて雇はれ居る内激烈なる梅毒に罹り治療せんとすれど抱主は慘酷にも湯屋に行く外他出を許さゞるのみならず毎夜客を取らする事とて益々重症に陷り苦痛に堪へ兼ねて前記の如く警察に保護を願ひ出でたる者なりと

●桐原署長の厚意

南部警察署衛生係鈴木部長は過般大和町の某腸チブス患者を見舞ひ之れが爲めその同病に感染する處となり遂ひに大韓醫院に入院したる由は過日の紙上に掲載したる處なるが同署長桐原警視は鈴木部長の公病の爲めに入院するに至りしに深く同情を寄せ直ちに部下の警部及巡查を大韓醫院に派し大いに斡旋の勞を執らしめ尚は自ら同院に鈴木部長を見舞ひ慰問する處ありたりといふ

●警官職に殉ず

鴨綠江沿岸の虎疫は益々猖獗を極めつゝあるが中の島駐在所詰巡查吉田藤兵衛氏は平素勤直の譽高かりしが虎疫發生以來孜々として耆役を分たず防疫事務に盡瘁しつゝありしに不幸同病の犯す處となり遂に廿八日職に殪れたり然るに茲に悲慘を極めしは同氏の家庭にて固より薄給の身の生計裕かならざるに妻は十七日出産して未だ産褥にあり他に尙ほ三子を遺せしことゝて他所の見る目も無慘なりと

●前科者の只呑

廣島縣沼隈郡熊野村目下旭町三丁目床梅方妹尾兼吉（三）は昨年當理事廳に於て窃盜及び毆打罪にて重禁錮に處され服役中破獄したるも直ちに押へられ服役し終りて大連に渡り阿部一郎方の雇人となりしも此處にも居堪らず諸々を流浪し去る廿七日旭町床梅方の茶谷長吉を賴り

●驅落者押へらる

大阪市生れ春日むめ（十九）は昨年七月末平壤須磨通り芝田梅吉支店に酌婦に住み込みゐたるが同地の蔦職川崎平治（三〇）と深くなり去る十四日當地に驅落し若草町に家を持ち居る處を抱主よりの依頼に依り南部署に押へられ引取りの爲め上京せる者に引渡す

て來り　昨夜太平町二丁目九州樓に登樓し一圓四十錢の無錢飲食して引致さる

●惱瓜を誤魔化す

仁川花町一丁目山本文吉方大工佐々木秋太郎と云ふは一昨夜九時頃日本公園下にて韓人童子の販賣せる惱瓜を誤魔化したる事發覺し警官に引致せられ漸やく說諭のみにて放還せられたりとはハテサテ馬鹿な奴

●持逃男の就縛

京城南山町二丁目田中常次郎方雇人津田彌佐市は主家の貴重なる古物を騙取して逃走中なりしが一昨日永樂町古物商西谷哲方に居るを南部署の手にて捕縛目下取調中なりと

●車の後から車

西部新門外新橋居住の李定万（二）は一昨日午前一時頃南山町三丁目第一銀行側にて伊東組車夫近藤袖太郎の俥の後より自分の車を突き當て日覆を破り損害を賠償して示談事濟み

●女賊捕へらる

南部竹洞齋龍基の妻白姓女は一昨日午前十時頃永樂町三丁目控訴院書記岡本忠孝方の懷中時計を窃取し捕る

●大道に垂れ流す

仁川濱町三丁目仲仕業小澤某と云ふは人通り繁しき通路にて放尿したる廉には昨日告發せられたり

演藝

▲村五郎死す　昨年伊藤文夫一座の女形として渡韓し至る處好人氣なりし桂五郎は歸朝後台灣に渡り台北榮座の立女形として出勤中先月來腸を病んで同地病院に入院治療を爲せしも其甲斐なく此程遂に二十九歲を一期として黃泉の人となつた、優は故角藤定憲の門下として新劇女形中で も格は好し將來有望な役者なりしに氣の毒なることをした▲京城座　本日の替りは「根あがり松」全編を演ずる由▲歌舞伎座　本日の替りは「芦分舟」全十一場にして役割は左の如し

藝妓小紋（西井）秋月すみ子（桂木）芦名次郎（河野）ヤラズの源次（角村）下僕梅造（高島）幇間一八、下女れとく（中村）芦名太郎右衛門、あんま（松村）友人木村（小谷）兒分三太（北村）母親れ寅、銀行員遠山（美崎）友人花田、秋月警部（篠崎）芦名太郎（愛澤）

◎一口噺　獨立隱士

△嬰兒の投書家▽

孫娘「れ爺さん今度京城日報の懸賞にチト産れて未だ七夜に成らぬ赤ン坊が一口噺を投書して一等に成つたとサ珍らしいナー」

れ爺さん「开麼ことが有ものか」

孫娘「うれでも投した人にまだ名が附いて居ないと云ふものを」

平民文庫

▲鎭南浦新聞は東拓に非常の同情を寄せた論說を掲げた、東拓も知己を鎭南浦に得た譯で聊以て瞑すべしである、鎭南浦新聞に褒められたのを機會に一つ定款でも改正して本社を鎭南浦に移したら可いだらう京城に本社を置く程のガラぢやない、鎭南浦新聞と東拓、似たもの同志だ、之れを破れ鍋に綴ぢ蓋と云ふ（有知巳生）▲京龍仁の青年間に大分俳句熱が熾んな樣だが一つ大會を開いたら何うだ（古池）▲太平町郵便所の生若い事務員は女に對しては頗る丁寧であるが我々男子に對つては甚だ横柄な挨拶をする此間の朝も僕が爲替を振に行たら無禮の言語を吐した（婀酌玉）▲京城の藝妓中で文學を能く書く妓は誰だと言へば拙は開進亭の老妓米八君を推すに躊躇しやせんなオホン（筆助）▲自分が正確に勤めをするからと言ふて他の同僚の缺點や隱秘を發き上官に申告する奴の心事を憐む（屁餅奸吏）▲民間新聞は長谷川町西小門通りに皆な集合して御用新聞は孤獨の有樣だ（面白子）▲吾輩とて血あり淚ある者なり猥りに弱い者いじめを爲すにあらず寧ろ彼等醜業婦の內幕を探究して同情に堪へぬものがある要は唯だ彼等をして自暴自棄を起さしめず現在の業に甘んする事を避けしめ奈落の底に陷らざる以前に於て少なくとも正道に近づかしめたき巽意あるに外ならぬのである（太平洞人）▲蟲干は土用中にするよりも初秋の晴朗なる天氣の際にするのが最も宜しいとの事だ或る書中は空氣が濕つて居るからとの事だ土用物で見たから諸君に（老婆心子）▲朝貌の花がやう〳〵に小うなり行くに秋の更くるを見る（心太）▲マッチ箱の貼紙寄贈を受けし（社內むら）▲統監の夫人が渡韓せらるゝと云ふが夫人が見へたら統監邸に二人の奥樣が出來る理由だが伺候した顯官の夫人連は困る事だらうどれやゑさんの素性を貴婦人の墮落に聞きたる僕はこそぼつたい樣な氣の毒の念の湧くを禁じ得ない（鐵拐）▲人吾を呼んで「れさなしい」と云ふ左れども場合によりては賣られた喧嘩なら買ひもしよういざ鎌倉となれば命を抛出すの大勇ありて然も平素謙遜溫和なりてこそ眞の「れとなしい」なり男子にして喧嘩一つ成し得ざるもの何をか成し得ん吾は自ら省みて恥ちざるを得ず（はの字）

◉學員大募集廣告◉

特許新發明三効式測量法教授（發明者自ラ教授ス）

米國シビルエンジニヤー ドクトル、フヰーヤン 土木工師　山崎園藏

壹ケ月卒業●卒業ノ上ハ免狀ヲ授與ス本校優等卒業生ハ諸官衙ニ就職ノ途ヲ與フ（詳細ハ本校ニ來談スベシ）

京城黃金町農商工部側通　私立　山崎土木建築實修學校

廣告

各種
洗濯石鹸
專門製造販賣
用途
陸軍、鐵道、船舶、鑛道、鑛山、水道湯屋
散髮、諸工業用
京城旭町二丁目
(電話九七三番)
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求職　醫學專門學校二年迄修業せし者醫師病院其他適當の職業を求む市內確實なる保證人あり　氏名在社(四二四)

●望仲働　配偶者ある二十六の女淸淨なる家庭の仲働又は針女に雇はれたし但給料八九圓を望む　氏名在社(四二五)

●被雇度　普通敎育ある二十八の男一定相當の職業を授けらるゝ仁人君子に遭逢したし但會計事務簿記方などに雇らるれば尤妙　氏名在社(四二六)

●求人　外勤事務員採用午後四時より來談あれ　京城相生町一六南門館　波多野

●求職　年廿五內地商業學校敎員奉職中の者漢語及商科一般の智識あり會社商店若くば官廳に雇はれたし　氏名在社(四二七)

●下女入用　廿歲前後の下女入用希望者は本人直接來談あれ　龍山停車場前大陽館

●求職　多年小學敎育に從事せし者至急相當の職業を求む但給料多きを望まず　氏名在社(四三一)

物件部

●本町七丁目通にて飮食店造作付のまゝ至急格安に讓渡したし　姓名在社(四二三)

●求宅地　官吏むき家屋建築に付き格安の宅地二三十坪買入たし　京城旭町一丁目五十三ノ四　安藤

廣告

京城旭町三ノ三〇　日韓諸新聞雜誌廣告取扱　京城廣告社

平壤要覽　全一册　定價壹圓廿錢
平壤の事情に精通せんとせば本書を讀め本書の表紙はクロースにして美麗を極む名所商蹟はコロタイプ版にして鮮明なり其記事は確實にして重要事項を網羅せり
發賣元　平壤大和町　白川活版所　電話三四四番

乳母入用
京城本町五丁目　大上商店　電話二五一番

馬車配達
●●滋養と牛乳●●
純良　牛乳
京城東四軒町　岡野牧場　電話壹〇六九番
●●衛生と消毒●●

待合
永樂町一丁目
嬉野

●花柳病一般、痔疾注射療法
神戶資生分院　京城梅毒病院
新築落成入院隨意
京城相生町(南門湯隣)
院長　元兵庫縣福原驅梅病院醫長　醫學得業士　蘆田耕平

朝鮮古書刊行
朝鮮研究者の福音
朝鮮開發者の資料

◎朝鮮の古書珍本を最も安價に手にせんとする者は本會に來れ
◎會補統監大久保軍司令官初め日韓名士續々豫約申込まれつゝあり宮內府內部、學部初め日韓諸官衙は多くの部數を續々申込れつゝあり
◎躊躇して千歲の好機を逸する勿れ
◎本年七月より四十四年九月に至る二ケ年間每月七百頁以上の洋裝美本を一册づゝ發刊す●豫約金は每月三圓五十錢とす●豫約申込期限は九月限とす
●詳細は郵劵二錢を送れ

京城本町九丁目(朝鮮雜誌社內)
發行所　朝鮮古書刊行會
豫約申込取次所　京城日報社　大韓書林　日韓書房　京城　同文館　東京　吉岡寶文館　大阪

商品目錄御申越次第進呈仕候
酒造家用品
醬油家用品
振替口座大阪壹〇四四番　長電話七四四番
廣嶋市天神町
兒玉商店

東京
正札付大安賣　厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目日の出橋際
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番

たやすくうります
綿わた　ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類
京城明治町一丁目四ツ角
卸問屋
唐川商店
電話二六一番

明治廿年七月創立●
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓●事務所　京城本町二の三電話一〇六〇番
京城代辨店　本町四山口吳服店　電話九番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウオルサム時計　米國アンソニヤ時計　韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商　仁川本町三丁目　喜多金光堂本店　電話七五〇番
時計卸小賣　京城本町二丁目　喜多金光堂支店　電話千十五番

●新案　富田式耐久靴底發賣廣告
新案特許出願中(富田式耐久靴底三六九八九號　富田式耐久靴踵三六九八八號)
捻廻し一本で誰でも出來る靴修繕
●本品は靴裏に破損を生せざる以前に用ゆれば靴修繕の必要なし
●本品は安價にして自宅修繕に便なり
●本品は附け外づし自由なれば婦人小供にても容易に取り付けする事を得べし
●本品は旅行用として携帶すべき必要品なり
●本品は如何なる旅行者と雖も十ケ月間破損の憂なし
●本品は踵の回轉自由なり
右賣出披露の爲め弊店にて七圓以上の靴御買求の御方樣へはゴム製上等品一足分尙七圓以下五圓迄の靴御買求めの御方樣へは皮製上等品一足分進呈可仕候
價格…●…ゴム製上等品　一足分　金二圓三十錢
皮製上等品　一足分　金八十錢
廣告の爲め當分二割五步引
京城本町一丁目(理事廳前通り)
富田製靴店
電話九一九番
地方よりの御注文は代金引替小包にて差上可申候
京城本町六丁目
富田製靴支店

日韓印刷株式會社
營業科目
活版、石版、銅版
各種印刷
帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷
諸材料販賣
遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候
本社　京城明治町三丁目　電話三二三番
出張所　東京麴町區麴町八丁目十九番地　電話番町二九〇番

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す　●料を給す　●搾場及此に留意し好良の食料を給す
●搾取の牛乳を受飮せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飮用し得らるべし
京城本町五丁目(電四七番)
販賣元　松尾支店
京城東四軒町(電七五番)
搾取所　松尾牧場

特約販賣自製
漬物　味噌　醬油　製造元
京城本町五丁目
大上商店
和洋酒、日精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣商御望に依り商品切手調進仕候
(電話二五一番)

東京生そば
移轉御披露
京城旭町三丁目十六番戶(三日月湯下隣)
東京庵
電話九五五番

焦心單志多年爲斯道雖於微義與旨恍然似有得者匪堅推臆斷喚啾茫洋辭愈涸臟素面輕蔑也
易斷觀相敎授　京城本町五丁目
館主　土御門派大陰陽師
三二館

待合　春日
京城本町一丁目

合　のしく

卸小賣
茶
京城本町五丁目
富士の里茶舖
電話九七九番

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
本店　京城本町三丁目(電話四〇番)
出張所　同南大門驛構內(電話七三二番)
伊藤組

日本郵船株式會社
仁川瀛船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通　電話三九番
郡回漕店
●釜山長崎門司神戶行
山東丸　九月二十六日午後三時出
●大連、太沽、牛莊行
高砂丸　九月九日正午時出
●大連、大沽、牛莊行
山東丸　九月十四日午前四時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸　九月三十日正午時出
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行
立神丸　九月八日午後出
御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲郵稅一ケ月金拾錢
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲四號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
發行所　京城新報社
京城西署西小門通　電話六六三番